交野市埋蔵文化財調査報告 1999－Ⅲ

平成11年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2000. 3

交野市教育委員会

交野市埋蔵文化財調査報告 1999－Ⅲ

平成11年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

2000. 3

交野市教育委員会

例　　言

1. 本書は交野市教育委員会が、平成11年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告である。

2. 発掘調査は交野市教育委員会が調査主体となって実施した。

3. 本書で使用したレベル高は海抜絶対高で、方位は磁北方位である。

4. 本文中の遺物番号は、実測図中の遺物番号と対応し、写真中の番号とは対応しない。

目　　次

例　言

第１章　埋蔵文化財発掘調査の状況 …… 1

第２章　発掘調査報告 …… 5
第１節　ハセデ遺跡 …… 5
第２節　交野郡衙跡 …… 6
第３節　神宮寺遺跡 …… 8
第４節　森遺跡 …… 10
第５節　天田神社遺跡 …… 11

挿　図
第１図　ハセデ遺跡調査地位置図 …… 5
第２図　ハセデ遺跡 99 － 2 次調査掘削地位置図 …… 5
第３図　交野郡衙跡調査地位置図 …… 6
第４図　交野郡衙跡 99 － 3 次調査掘削地位置図 …… 6
第５図　交野郡衙跡 99 － 3 次調査北側断面実測図 …… 7
第６図　交野郡衙跡 99 － 6 次調査掘削地位置図 …… 7
第７図　交野郡衙跡 99 － 6 次調査北側断面実測図 …… 7
第８図　神宮寺遺跡調査地位置図 …… 8
第９図　神宮寺遺跡 99 － 1 次調査地位置図 …… 9
第10図　神宮寺遺跡 99 － 1 次調査北側断面実測図 …… 9
第11図　森遺跡調査地位置図 …… 10
第12図　森遺跡 99 － 2 次調査掘削地位置図 …… 10
第13図　森遺跡 99 － 2 次調査第３、４トレンチ平面・断面実測図 …… 11
第14図　天田神社遺跡調査地位置図 …… 11
第15図　天田神社遺跡 99 － 1 次調査掘削地位置図 …… 12
第16図　天田神社遺跡 99 － 1 次調査西側断面実測図 …… 12
第17図　天田神社遺跡 99 － 2 次調査掘削地位置図 …… 13
第18図　天田神社遺跡 99 － 2 次調査断面実測図 …… 13

挿　表

第１表　補助事業に係る発掘調査地一覧 …… 1
第２表　補助事業に係る発掘調査地一覧 …… 2
第３表　補助事業に係る発掘調査地一覧 …… 3
第４表　補助事業に係る発掘調査地一覧 …… 4

図　版

図版１　ハゼデ遺跡99－２次調査出土遺物実測図
図版２　交野郡衙跡99－３次調査出土遺物実測図
図版３　交野郡衙跡99－６次調査出土遺物実測図
図版４　神宮寺遺跡99－１次調査出土遺物実測図
図版５　森遺跡99－２次調査出土遺物実測図
図版６　天田神社遺跡99－１次調査出土遺物実測図
図版７　天田神社遺跡99－２次調査出土遺物実測図
図版８　ハセデ遺跡99－２次調査
図版９　交野郡衙跡99－３次調査
図版10　交野郡衙跡99－6次調査遺構検出状況
図版11　交野郡衙跡99－6次調査遺構完掘状況
図版12　神宮寺遺跡99－１次調査
図版13　森遺跡99－２次調査
図版14　天田神社遺跡99－１次調査
図版15　天田神社遺跡99－２次調査(第3トレンチ)
図版16　ハセデ遺跡99－２次調査出土遺物
図版17　交野郡衙跡99－３次調査出土遺物
図版18　交野郡衙跡99－６次調査出土遺物
図版19　神宮寺遺跡99－１次調査出土遺物
図版20　森遺跡99－２次調査出土遺物
図版21　天田神社遺跡99－１次調査出土遺物
図版22　天田神社遺跡99－１次調査出土遺物
図版23　天田神社遺跡99－１、２次調査出土遺物

第１章　埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では平成11年４月14日から平成12年２月15日に至る間、交野郡衙跡他３２件の補助事業に係る発掘調査を実施した(第１～４表)。今年度調査の対象となった遺跡は、ハセデ遺跡、交野郡衙跡、私部城跡、倉治遺跡、東倉治遺跡、神宮寺遺跡、寺村遺跡、寺古墳群、森遺跡、森古墳群、天田神社遺跡、星田駅北遺跡、星の森遺跡、新宮山遺跡の14遺跡である。

第１表　補助事業に係る発掘調査地一覧

No	調査口	遺跡名及び調査区	調　査　地	調　査　内　容
1	5/28	ハセデ遺跡 99－1次調査	交野市郡津５丁目 982－3	調査区の北東部に1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.0mまで掘削する。層位は５層確認できた。地表下0．4ｍ以下の第４、５層にて須恵器・土師器・瓦器椀、磁器椀片を出土する。遺構は検出できなかった。
2	5/31 ～6/1	ハセデ遺跡 99－2次調査	交野市郡津５丁目 1029,1030	本書５ページに記載。
3	7/5	ハセデ遺跡 99－3次調査	交野市郡津５丁目 1084－25	調査区の西側で、建物の進入路部分を調査する。1.5×1.0mのトレンチを設定し、地表下0.5mまで掘削する。層位は３層確認できた。地表下0.4m付近にて地山面である淡黄色粘土層を確認した。遺構・遺物なし。
4	4/26	交野郡衙跡 99－1次調査	交野市郡津３丁目 349－14	調査区の南側に2.0×0.9mのトレンチを設定し、地表下0.8mまで掘削する。層位は１層のみの確認であった。遺構・遺物なし。
5	5/24	交野郡衙跡 99－2次調査	交野市郡津２丁目 1494－2他	調査区の西側に1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下約0.4mまで掘削する。層位は２層確認できた。遺構・遺物なし。
6	6/15 ～17	交野郡衙跡 99－3次調査	交野市郡津１丁目 89－1	本書６、７ページに記載。
7	7/21、 22	交野郡衙跡 99－4次調査	交野市郡津３丁目 618－10	調査区の南側に1.0×1.0mのトレンチを２カ所設定し、地表下1.0mまで掘削する。両トレンチとも遺構・遺物なし。層位は４層確認できた。地表下0.9mで地山面の黄褐色砂質土層を確認する。
8	12/7 ～10	交野郡衙跡 99－5次調査	交野市郡津３丁目 999－47他	調査区の３カ所に2.0×1.0m、3.0×1.0m、1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下までそれぞれ0.5m付近まで掘削を行う。地山は橙色粗砂で、その上に２～３層の埋土が堆積している。遺構は確認できなかったが、第１トレンチの第２層、第３トレンチの第３層にて須恵器・土師器片が出土した。
9	12/13、 14	交野郡衙跡 99－6次調査	交野市郡津１丁目 84他	本書７ページに記載。

第２表　補助事業に係る発掘調査地一覧

No	調査日	遺跡名及び調査区	調　査　地	調　査　内　容
10	1/17	交野郡衙跡 99－7次調査	交野市幾野１丁目 48－12	調査区の南東部に1.5×0.8mのトレンチを設定し、地表下0.6mまで掘削する。層位は４層確認できた。上層は盛土であったが、下層は橙色と青灰色の粘土であった。遺構・遺物は確認できなかった。
11	1/18、 19	交野郡衙跡 99－8次調査	交野市郡津３丁目 1387の一部	調査区の東側に6.0×0.7mのトレンチを設定し、重機にて地表下0.7mまで掘削する。南側にて遺物の包含層の黒色粘土層を検出した。この部分は人力にて掘削を行った。層位は８層確認できた。同遺構及び上層の包含層から須恵器片、土師皿片、土師質の羽釜片、陶器のすり鉢片、磁器碗片が出土している。
12	4/14	私部城跡 99－1次調査	交野市私部６丁目 1673－6	調査区の南側にて2.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.3mまで掘削する。層位は５層確認できた。第５層より、土師器片が出土している。
13	12/22 ～24	私部城跡 99－2次調査	交野市私部５丁目 2955－5	調査区の南東部に1.0×1.0m、北西部に2.0×1.0mのトレンチを設定し、両トレンチとも地表下0.9mまで掘削する。上層では近世から現代までの、下層では中世の瓦片、瓦器片等が出土した。
14	11/15	倉治遺跡 99－1次調査	交野市倉治１丁目 623－1他	調査区の東側と西側に2.0×0.8mのトレンチを２カ所設定して調査を行う。東側の第１トレンチは地表下1.3mまで掘削する。埋土は上層より褐灰色粘土、青灰色粘土、灰白色粗砂、青灰色粘土である。西側の第２トレンチも地表下1.3mまで掘削する。埋土は褐灰色粘土、青灰色粘土、灰白色粗砂である。本調査地は南側を流れる免除川旧河道位置に推定され、そのため砂礫層が厚く堆積したものと思われる。遺構・遺物は確認できなかった。
15	2/15	倉治遺跡 99－2次調査	交野市倉治１丁目 603の一部	調査区の東側と西側の２カ所に4.0×1.0mのトレンチを設定して調査を行う。東側の第１トレンチは地表下1.3mまで掘削する。層位は３層で、上層より黒色の耕作土、続いて灰白色の砂質土が厚く堆積し、その下に黄色粘土層が堆積している。遺構・遺物は確認できなかった。第２トレンチも第１トレンチと対応する層位であった。
16	7/23	東倉治遺跡 99－1次調査	交野市東倉治４丁目 2171－1の一部	調査区の南側に1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.0mまで掘削する。層位は３層で、上層は盛土で、その下の２層は東から西へと傾斜を持つ砂層で、山側斜面からの土砂の流出によるものと考えられる。遺構・遺物なし。
17	4/20	神宮寺遺跡 99－1次調査	交野市神宮寺１丁目 178	本書８、９ページに記載。

第３表　補助事業に係る調査地一覧

No	調査日	遺跡名及び調査区	調　査　地	調　査　内　容
18	5/6	神宮寺遺跡 99－2次調査	交野市神宮寺２丁目 73	調査区の北側に2.6×1.0mのトレンチを設定し、地表下0.9mまで掘削する。層位は９層確認できた。遺構・遺物なし。第１層は褐色シルト、第２層は灰オリーブ細砂、第３層は灰色シルト、第４層は灰色シルト、第５層は淡黄色粗砂、第６層はオリーブ黄色細砂、第７層は灰白色細砂、第８層は淡黄色細砂、第９層は灰色シルトである。うち第4、9層は植物の腐植土の可能性がある。
19	4/15	寺村遺跡 99－1次調査	交野市寺１丁目 2－3、4	調査区の西側に2.5×2.5mのトレンチを設定し、重機にて地表下2.7mまで掘削する。層位は５層確認できた。遺構・遺物なし。第１層は木の腐植土で黒褐色シルト、第２層は橙色粘土、第３層は明黄褐色シルト、第４層は明黄褐色シルトで、当遺跡の西側の森遺跡の古墳時代ベース面と同じ層である。第５層も明緑灰色粘土で森遺跡でも認められる。
20	2/1	寺村遺跡 99－2次調査	交野市寺２丁目 248－2	調査区の北側に2.0×0.7mのトレンチを２本設定し、地表下2.3mまで重機にて掘削する。層位は５層確認できた。地表下0.2mまでは盛土で、0.2~0.7mは旧耕作土、0.7~1.0mは砂層で、山側からの土砂の流出層と考えられる。1~2mは青灰色の粘土層である。遺構・遺物は確認できなかった。
21	12/1	寺古墳群 99－1次調査	交野市寺 1102、1105	調査区の南北17.0×0.5m、東西9.0×0.5mのトレンチを十文字に設定し、地表下最深1.2mまで重機にて掘削する。東南より北西部にかけて緩やかな傾斜をもつことが、断面観察より分かる。層位は３層確認できた。第１層が旧耕作土、第２層が約0.9mの堆積土で山側よりの土砂の流れ込み、第３層は0.1mほどの黒青色粘土層で、上師器片・炭を採取した。
22	5/18	森遺跡 99－1次調査	交野市森北１丁目 336	調査区の中央部南・北端それぞれに2.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.1m(1トレンチ)、1.6m(2トレンチ)まで掘削する。層位は７層確認できた。各トレンチとも、1.1m付近で古墳時代の地山面が認められた。遺構・遺物なし。
23	5/20、21	森遺跡 99－2次調査	交野市森北１丁目 314－1他	本書10、11ページに記載。
24	5/25	森遺跡 99－3次調査	交野市私市２丁目 1193－4	調査区の北東隅に1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下1.3mまで掘削する。層位は７層確認できた。第１～３層は盛土、第４層が旧耕作土、第５層は中世耕作土で瓦器椀の破片、第７層で古墳時代のベース面を検出した。

第４表　補助事業に係る発掘調査地一覧

No	調査日	遺跡名及び調査区	調　査　地	調　査　内　容
25	7/6 ～9	森遺跡 99－4次調査	交野市森南３丁目 129－1、128－3	調査区の南側に1.0×1.0mのトレンチを３カ所設定し調査を行う。層位は３層確認できた。第１トレンチは地表下1.0mまで、第2,3トレンチは地表下1.2mまで掘削する。遺構・遺物なし。
26	1/21	森遺跡 99－6次調査	交野市森南１丁目 214－3の一部他	調査区の西側に1.0×1.0mのトレンチを設定し、地表下0.5mまで掘削する。層位は３層確認できた。0.5m付近で昭和期のバラス層を確認した。遺構・遺物なし。
27	8/10 ～17	森古墳群 99－1次調査	交野市大字森 627－3他	調査区西側の道路からの進入路部分に合計８カ所のトレンチを設定し、それぞれ工事の掘削深度を考慮し、人力にて掘削を行った。トレンチの大きさは1～2㎡の範囲で８カ所設定した。掘削はそれぞれ地表下0.5～1.0mの範囲で行った。各トレンチとも表土の下はすべて山側からの土砂の堆積層である。同層中には植物などの腐食土は認められなかった。第4～7トレンチでは地山面である灰白色粗砂を確認した。各トレンチとも遺構・遺物は確認できなかった。
28	5/10 ～13	天田神社遺跡 99－1次調査	交野市私市１丁目 66の一部	本書12ページに記載。
29	9/29～ 10/5	天田神社遺跡 99－2次調査	交野市私市１丁目 182	本書13ページに記載。
30	5/7	星田駅北遺跡 99－1次調査	交野市星田北７丁目 3625－2	調査区の南東隅に2.0×1.5mのトレンチを設定し、地表下1.2mまで掘削する。層位は４層確認できた。第１層は黄色粗砂(盛土)、第２層は暗青灰色粘土(旧耕作土)、第３層は灰白色粗砂(礫混じり)、第４層は青灰色粘土で、森遺跡等でよくみられる淡水性の粘土層である。遺構・遺物は認められなかった。
31	4/16	星の森遺跡 99－1次調査	交野市星田７丁目 2185－1	調査区の中央部に2.4×0.8mのトレンチを設定する。地表下1.0mまで掘削する。層位は３層確認できた。遺構・遺物なし。第１層は灰白色シルト、第２層はにぶい黄色粘土、第３層はにぶい黄橙色粘土である。
32	9/28	新宮山遺跡 99－1次調査	交野市星田３丁目 2868他	調査区の中央東側に1.6×1.3mのトレンチを設定し、地表下1.4mまで掘削する。層位は２層確認できた。上層は黄橙色粗砂、下層は青灰色粘土であった。遺構・遺物は確認できなかった。

第２章　発掘調査報告

第１節　ハセデ遺跡

①　ハセデ遺跡99－２次調査　交野市郡津５丁目1029、1030番地

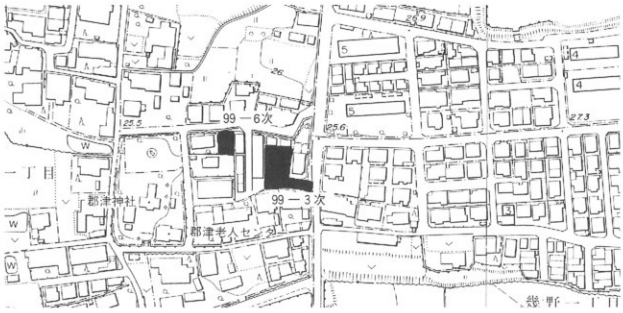
第１図　ハセデ遺跡調査地位置図(1:2,500)

調査区に３カ所のトレンチ(第１、２トレンチ1.0×1.0ｍ、第３トレンチ11.0×1.0ｍ)を設定し、人力及び重機により掘削を行った。層位は各トレンチともおおよそ７層に分層できる。上層より第５、６層で遺物が認められる。続く第７層は砂層が厚く堆積するのみであり、遺物を確認するに至らなかった。

遺物としては、第１トレンチより須恵器片、平瓦片(縄目)、第２トレンチより須恵器、土師器片、第３トレンチより須恵器(蓋坏・甕・鉢)、土師器片、瓦器椀片等が出土している(図版１、16)。１は須恵器・蓋坏(坏)で、復元口径12.0cm、残存器高3.0cmを測る。２は須恵器・蓋坏(坏)で復元高台径11.8cm、残存器高3.1cmを測る。３は須恵器・甕片で復元口径33.0cm、残存器高12.5cmを測る。４は須恵器・壺片で、復元口径19.0cm、残存器高4.8cm、復元頸部径18.0cmを測る。５は製塩土器片で復元口径8.6cm、残存器高2.2cmで、体部は塩の影響のためかピンク色に変色している。

第２図　ハセデ遺跡 99 － 2 次調査掘削地位置図(1:500)

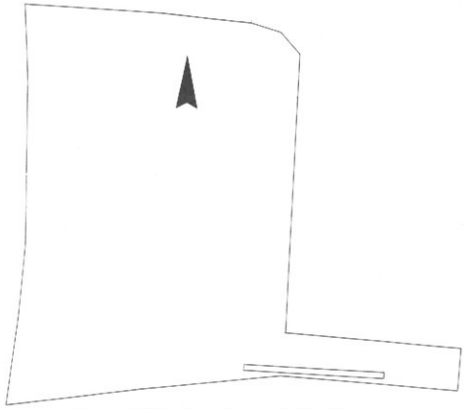
第２節　交野郡衙跡



第３図　交野郡衙跡調査地位置図(1:2,500)

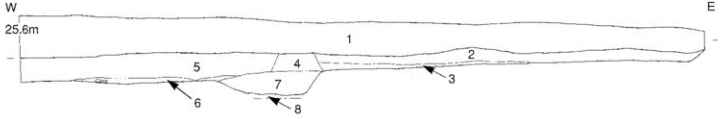
①　交野郡衙後 99－3次調査　交野市郡津１丁目 89－1番地

調査区の南東部に 9.0×0.4 mのトレンチを設定し、地表下 0.8 mまで重機にて掘削する。その後人力で調査を行う。層位は８層確認できた。上層は工事前に実施された地盤改良のコンクリ



第４図　交野郡衙跡 99－3次調査掘削地位置図(1:250)

ート層で、その下の各層中から遺物が出土した。遺物は須恵器片、土師皿片、土師質の羽釜もしくはホウラク片、陶器のすり鉢、磁器椀片などである。実測できた資料は2点である(図版2、17)。1は羽釜もしくはホウラクと考えられるもので、復元口径31.4cm、残存器高6.0cmを測る。2は土師皿片で復元口径9.0cm、器高1.7cmを測り、端部に煤が付着している。

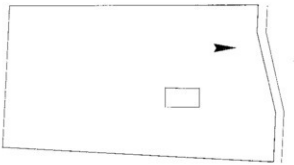


1. 盛土　2.5Y 8/1 灰白色粘土
2. 7.5YR 5/6 明褐色粘土砂質土
3. 10YR 7/6 明黄褐色粘土砂質土
4. 5YR 5/8 明赤褐色粘土砂質土
5. 2.5Y 4/6 オリーブ褐色砂質土
6. 2.5Y 6/4 にぶい黄色細砂質土
7. 7.5YR 5/6 明褐色粘土質土
8. 2.5Y 8/1 灰白色粘土

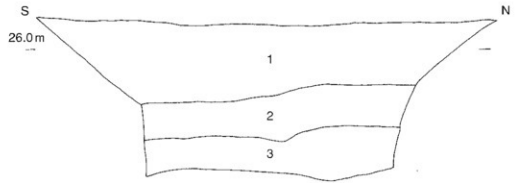
第5図　交野郡衙跡 99－3次調査北側断面実測図(1:50)

② 交野郡衙跡 99－6次調査　交野市郡津1丁目84番地他

調査区の北側に2.3×1.3mのトレンチを設定し、地表下1.7mまで調査を行った。重機にて1.5mまで掘削し、その後人力にて調査を実施した。層位は3層確認できた。第3層中より近世以降の瓦・磁器椀片に伴って須恵質で凸面格子目叩きを施す平瓦片、須恵器の甕片が出土した(図版3、18)。須恵器の甕は復元口径34.0cm、残存器高5.0cmを測る。口頸部に波状文を施している。



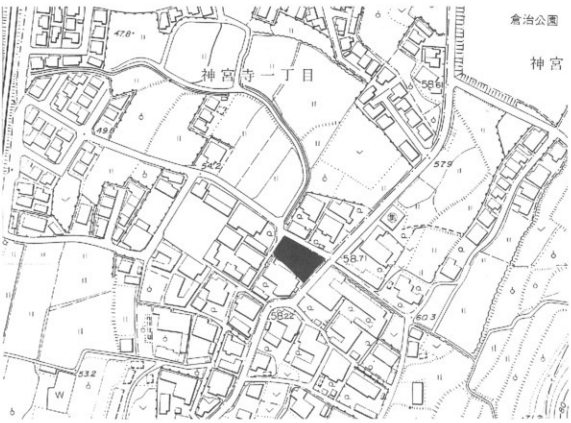
第6図　交野郡衙跡 99－6次調査掘削地位置図(1:250)



1. 10YR 6/8 明黄褐色砂質土
2. 10Y 6/2 オリーブ灰色砂質土細砂混入
3. 7.5Y 2/2 オリーブ黒色砂質土粘土

第7図　交野郡衙跡 99－6次調査北側断面実測図(1:40)

第３節　神宮寺遺跡



第８図　神宮寺遺跡調査地位置図(1:2,500)

①　神宮寺遺跡99－１次調査　交野市神宮寺１丁目178番地

調査区の南西部に4.0×1.0ｍのトレンチを設定する。地表下1.0ｍまで掘り下げる。層位は７層確認できた。第１層は旧建物の解体時の整地層でにぶい黄橙色細砂、第２層は褐灰色シルトで、近代の遺構の埋土。第３層は黒褐色粘土、第４層は褐灰色細砂、第５層は褐灰色細砂、第６層は黒色粘土、第７層は黄色細砂である。

出土した遺物は、第２層において瓦器椀片が、第３～５層にては瓦器椀片の他、土師皿片や羽釜片、須恵質の鉢片が出土した(図版４、19)。

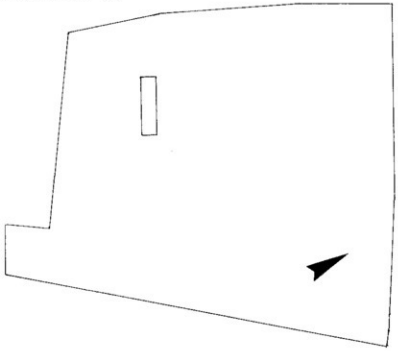
第２層で出土した瓦器椀片のうち実測できた資料は以下の２つである。１は瓦器椀片で復元口径13.0㎝、残存器高3.0㎝で、体部内面のヘラミガキの隙間は大きい。２は瓦器椀片で高台径4.8㎝、残存器高2.0㎝、見込み部のヘラミガキは連続の長楕円状のものである。高台の断面は三角形である。

第３～５層中で出土した遺物のうち実測できた資料は以下の７つである。うち瓦器椀は３つである。３は復元口径14.0㎝、残存器高3.5㎝、体部外面にも数条のヘラミガキを施す。内面のヘラミガキは密である。口縁端部はやや外反する。４は復元高台径6.4㎝、残存器高1.5㎝、高台の断面は三角から台形状で、見込み部のヘラミガキは連結輪状のものである。内面のヘラミガ

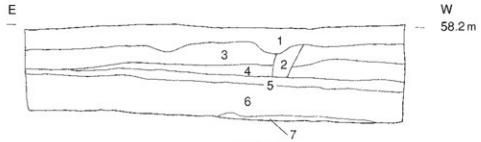
キは高台部付近まで行われている。5は復元高台径6.0㎝、残存器高1.8㎝。見込み部のヘラミガキは長楕円状のものである。内面のヘラミガキは高台付近まで施される。高台の断面は台形状である。

次に実測できた土師皿は3つである。6は復元口径12.0㎝、残存器高3.0㎝を測る。7は復元口径7.2㎝、残存器高1.2㎝を測る。胎土は精良である。8は復元口径9.2㎝、残存器高1.8㎝を測る。胎土は精良である。

その他遺物中実測できた資料は9の羽釜である。復元口径28.0㎝、残存器高22.0㎝を測る。体部外面下側に煤が付着している。



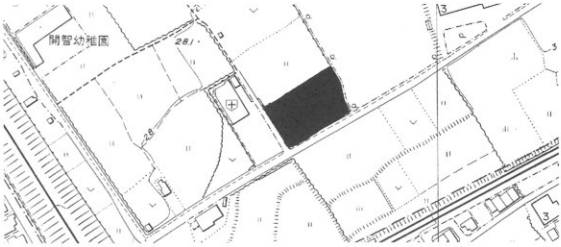
第9図　神宮寺遺跡99－1次調査掘削地位置図(1:250)



1. 10YR 7/2 にぶい黄橙色細砂
2. 10YR 4/1 褐灰色シルト
3. 10YR 3/1 黒褐色粘土（土器多量）
4. 10YR 5/1 褐灰色シルト
5. 10YR 5/1 褐灰色細砂
6. 10YR 7/1 黒色粘土
7. 2.5Y 8/6 黄色細砂

第10図　神宮寺遺跡99－1次調査北側断面実測図(1:40)

第４節　森遺跡

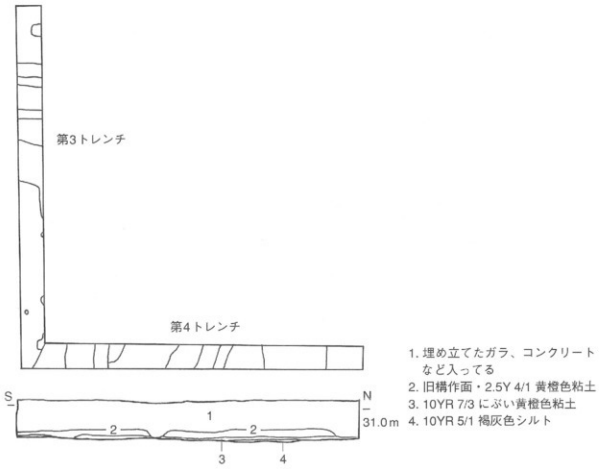


第11図　森遺跡調査地位置図(1:2,500)

①　森遺跡 99－２次調査　交野市森北１丁目 314－１番地他

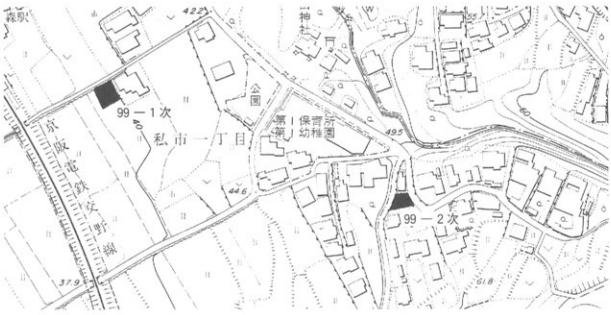
調査区の東北部に 1.5×1.0 m(第１トレンチ)、西北部に 1.5×1.0 m(第２トレンチ)、東南部に 11.0×0.7 m(第３トレンチ)、10.0×0.7 m(第４トレンチ)を設定し、重機にて確認調査を行う。第１、２トレンチは地表下 1.9 mまで掘削するが遺構・遺物なし。第３、４トレンチは地表下 1.1 mにて古墳時代の遺構(溝・土坑)を検出する。層位は４層確認できた。遺物は中世の瓦器椀片、古墳時代の須恵器片、土師器片、鉄滓 79 gなどが出土する。実測できた資料は２点である(図版５、20)。１は鉄滓で、長径 5.8 ㎝、短径 4.0 ㎝、厚さ 1.3 ㎝、重量 49.2 gを測る。小型の椀形鍛冶滓である。２は土師皿片で復元口径 9.0 ㎝、残存器高 1.5 ㎝を測る。

第12図　森遺跡 99－２次調査掘削地位置図(1:400)



第13図　森遺跡 99－2 次調査第 3、4 トレンチ平面・断面実測図

第 5 節　天田神社遺跡

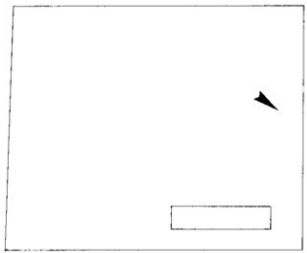


第14図　天田神社遺跡調査地位置図(1:2.500)

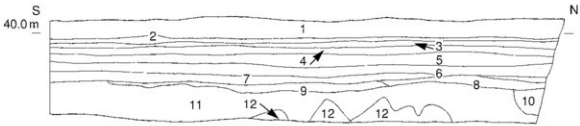
① 大田神社遺跡 99－1次調査　交野市私市1丁目66番地

調査区の北東部に5.4×1.2mのトレンチを設定し、地表下約1mまで重機及び人力にて掘削する。層位は12層確認できた。第5層目までは鎌倉時代以降現代までの間に堆積した層である。時期を特定できる遺物群の出土は認められなかった。地表下約0.5mの第6層にて11～12世紀代の土師質皿と瓦器椀を出土する。第7層は奈良～平安時代に属すると思われる須恵器・鉢もしくは壺片が出土する。第8層は砂層で洪水層と思われる。第11層は黒褐色シルト層で、古墳時代の土師器片・須恵器片を多数出土した。

実測できた資料は4点である(図版6、21－23)。1は土師器の甕で、復元口径19.0cm、残存器高22.0cm、を測る。把っ手付きで平底である。口頸部は内湾して上外方に伸びた後、僅かに屈曲して上に伸びる。口縁端部は内傾する平坦面を有する。外面の一部には朱を塗布している。2は須恵器の壺で復元体部最大径12.0cm、復元頸部径6.8cm、残存器高9.5cmを測る。口頸部を欠損している。3は瓦器椀片で復元口径12.0cm、残存器高3.5cmを測る。焼成は不良で、表面には炭素が吸炭していない。4は瓦器椀片で復元高台径4.6cm、残存器高0.9cmを測る。高台はかなり退化している。



第15図　天田神社 99－1次調査掘削地位置図(1:200)

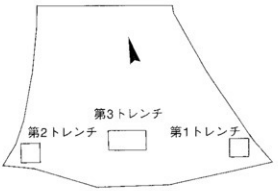


1. 5B 4/1 暗青灰色粘土
2. 7.5Y 6/1 灰色シルト
3. 5Y 6/1 灰色シルト
4. 5Y 5/2 灰オリーブ色シルト
5. 5Y 5/1 灰色シルト
6. 2.5Y 6/6 明黄褐色シルト
7. 2.5Y 7/1 灰白色細砂
8. 2.5Y 7/2 灰黄色細砂（洪水層）
9. 6Y 8/1 灰白色粗砂（洪水層）
10. 5Y 8/1 灰白色粗砂
11. 5YR 3/1 黒褐色シルト(須恵質も含んだ包含層、水田面か)
12. 5Y 8/1 灰白色粗砂（洪水層）

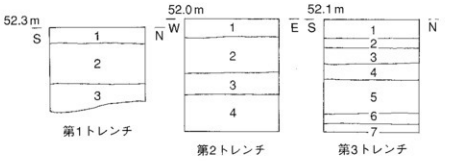
第16図　天田神社遺跡 99－1次調査西側断面実測図(1:40)

② 天田神社遺跡99－2次調査　交野市私市1丁目182番地

調査区にトレンチを3カ所(第1トレンチ1.0×1.0m、第2トレンチ1.0×1.0m、第3トレンチ2.0×1.0m)を設定し、人力にて地表下0.9～1.2mまで掘削する。中央部第3トレンチ及び西側第2トレンチの地表下0.3～0.6mにて中世の黒色土器片、瓦器椀片、土師皿片等を出土する。遺構は検出されなかった。実測できた資料は3点である(図版7、23)。1は瓦器椀片で復元高台径5.0cm、残存器高1.0cmを測る。高台の断面は三角形。見込み部のヘラミガキは長楕円形状である。2は土師皿片で復元口径7.0cm、残存器高1.1cmを測る。3は土師皿片で復元口径9.0cm、残存器高1.5cmを測る。



第17図　天田神社99－2次調査掘削地位置図(1:200)



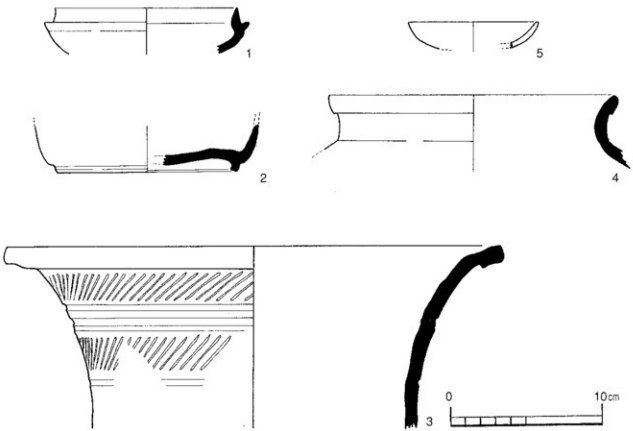
1. 10YR 5/1 褐灰色粘土
2. 10YR 7/1 灰白色細砂
3. 10YR 灰黄色褐色細砂

1. 10YR 5/1 褐灰色粘土
2. 10YR 6/2 灰黄褐色シルト
3. 10YR 5/1 褐灰色シルト
4. 10YR 4/1 褐灰色シルト

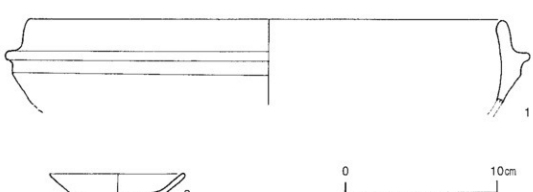
1. 10YR 2/1 黒色粘土
2. 10YR 5/1 褐灰色粘土
3. 10YR 6/2 灰黄褐色粘土
4. 10YR 4/2 灰黄褐色粘土
5. 2.5Y 7/3 浅黄色細砂
6. 10YR 5/1 褐灰色シルト
7. 2.5Y 7/6 明黄褐色粗砂

第18図　天田神社遺跡99－2次調査断面実測図(1:40)

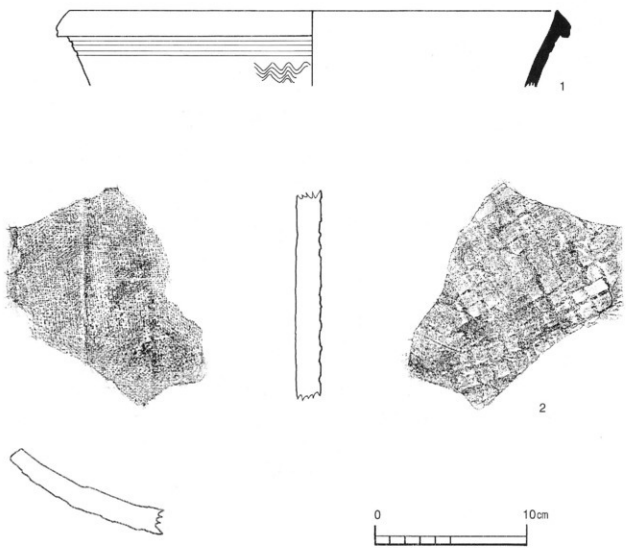
図　　版



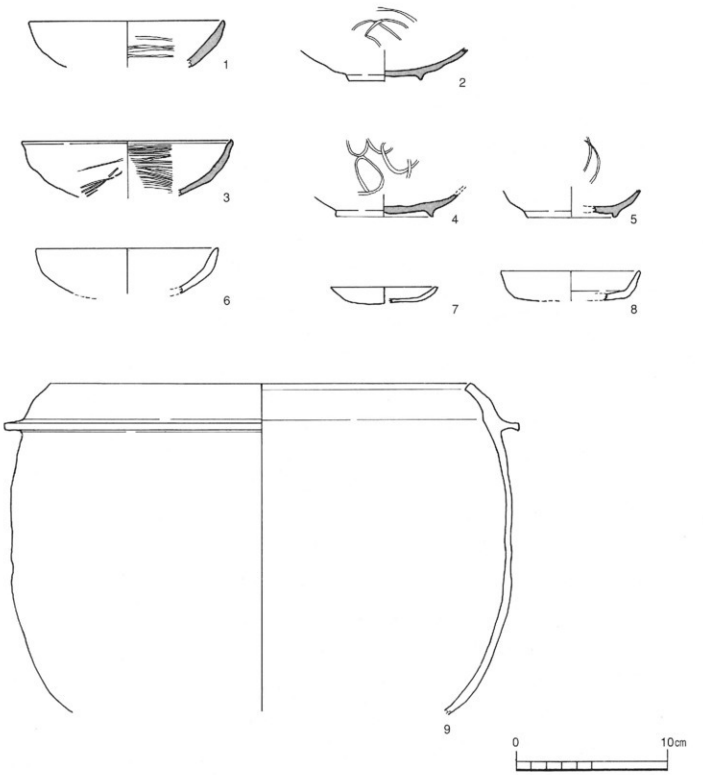
図版 1　ハセデ遺跡 99 － 2 次調査出土遺物実測図



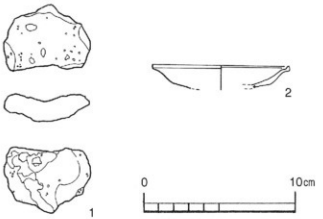
図版 2　交野郡衙跡 99 － 3 次調査出土遺物実測図



図版 3　交野郡衙跡 99 － 6 次調査出土遺物実測図

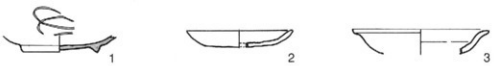


図版 4　神宮寺遺跡 99 － 1 次調査出土遺物実測図

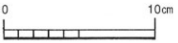


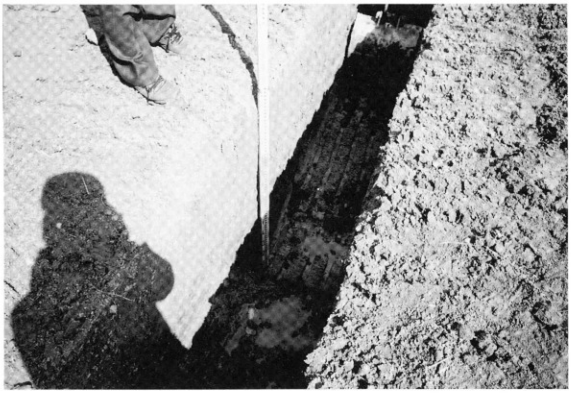
図版 5　森遺跡 99 － 2 次調査出土遺物実測図

図版 6　天田神社遺跡 99 － 1 次調査出土遺物実測図

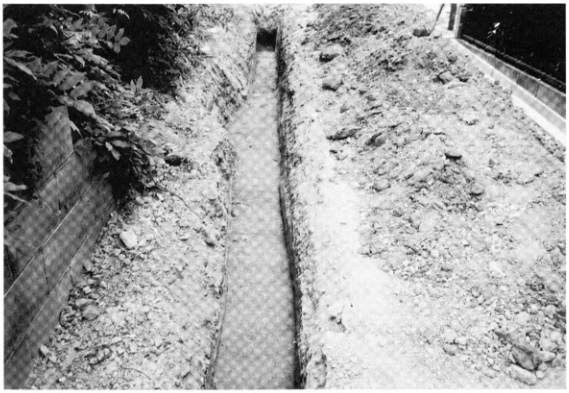


図版 7　天田神社遺跡 99 － 2 次調査出土遺物実測図

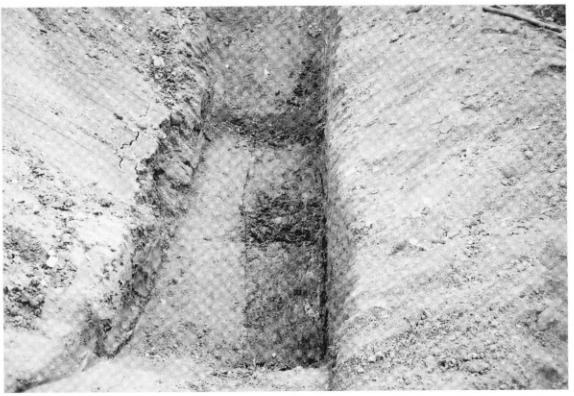




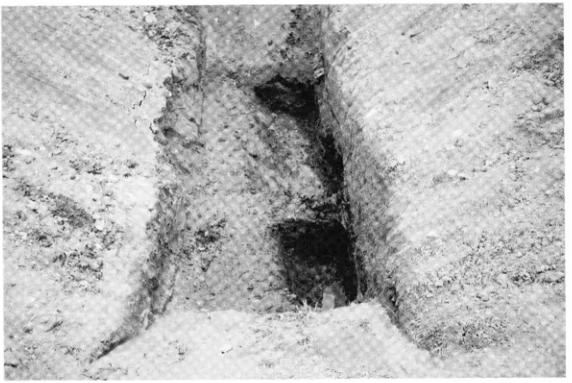
図版 8　ハセデ遺跡 99 － 2 次調査



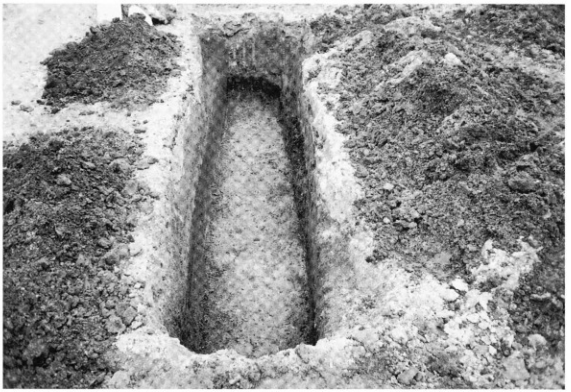
図版 9　交野郡衙跡 99 － 3 次調査



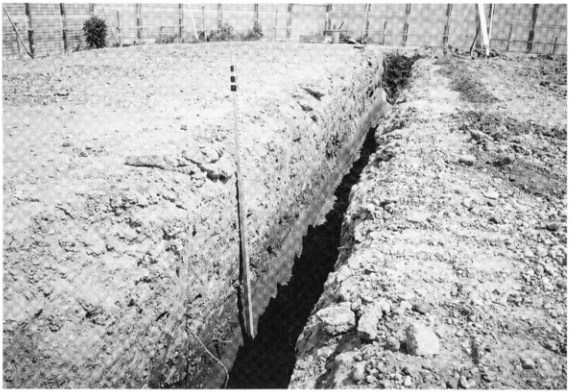
図版10　交野郡衙跡 99 －6次調査遺構検出状況



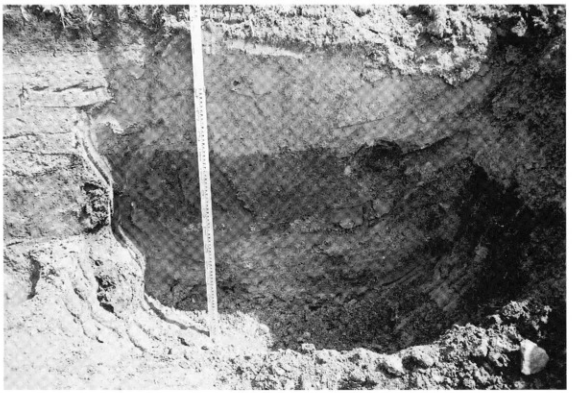
図版11　交野郡衙跡 99 －6次調査遺構完掘状況



図版12　神宮寺遺跡 99 － 1 次調査

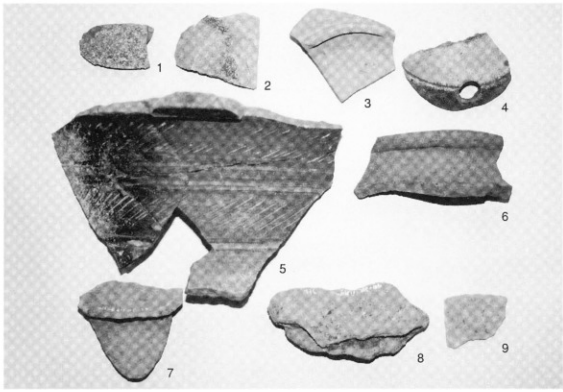


図版13　森遺跡 99 － 2 次調査

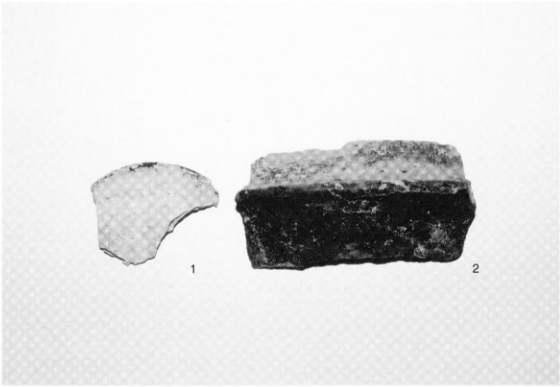


図版14　天田神社遺跡 99－1 次調査

図版15　天田神社遺跡 99－2 次調査（第3トレンチ）



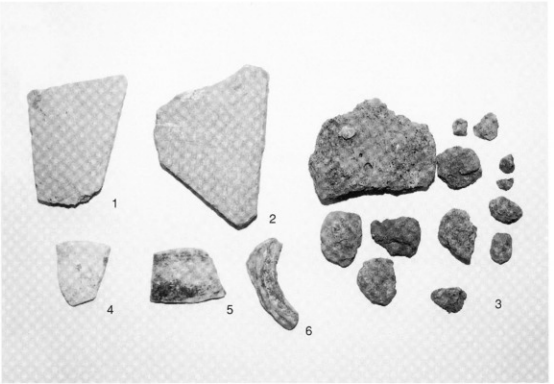
図版16　ハセデ遺跡 99 － 2 次調査出土遺物
1～6 須恵器　7.8 土師器　9 製塩土器



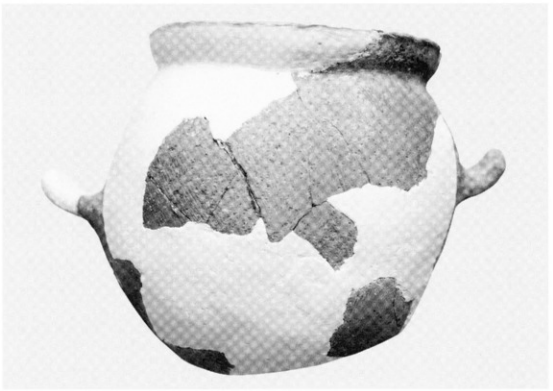
図版17　交野郡衙跡 99 － 3 次調査出土遺物
1 土器皿　2 羽釜か

図版18　交野郡衙跡 99－6 次調査出土遺物
1 須恵器　2～4 瓦

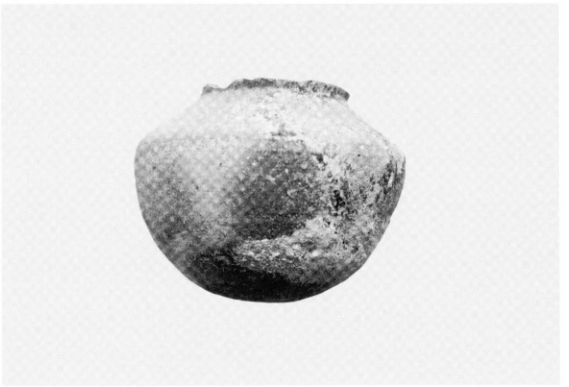
図版19　神宮寺遺跡 99－1 次調査出土遺物
1～5 瓦器椀　6～8 土師皿　9 羽釜



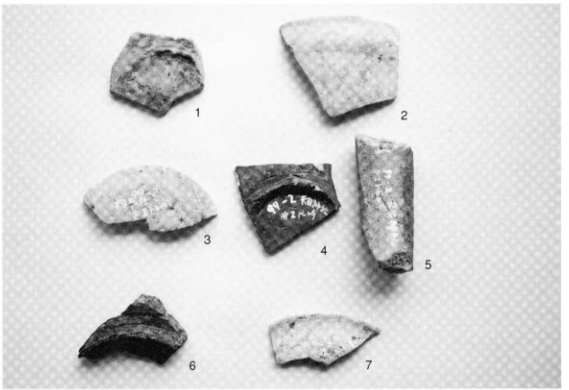
図版20　森遺跡 99 － 2 次調査出土遺物
1.2 須恵器　3 鉄滓　4 土師皿　5.6 瓦器椀



図版21　天田神社遺跡 99 － 1 次調査出土遺物
土師器・甕



図版22　天田神社遺跡９９－１次調査出土遺物
須恵器・壺



図版23　天田神社遺跡９９－１、２次調査出土遺物
99－１次調査　１瓦器椀　２土師皿
99－２次調査　３土師皿　４瓦器椀　５瓦質土器(足釜) ６黒色土器　７土師皿

報告書抄録

ふりがな	へいせいじゅういちねんどかたのまいぞうぶんかざいはっくつちょうさがいよう
書名	平成１１年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要
副書名	
巻次	
シリーズ名	交野市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	１９９９－Ⅲ
編著者名	奥野和夫・真鍋成史
編集機関	交野市教育委員会
所在地	〒576-0052　大阪府交野市私部１丁目１番１号　(072)892-0121
発行年月日	２０００年３月３１日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査機関	調査面積 ㎡	調査原因
ハセデ遺跡	交野市郡津（かたのしこうづ）	27230		34° 47′ 37″	135° 40′ 33″	1999.5.31 ～6.1	1553.91	宅地造成(99-2次)
交野郡衙跡（かたのぐんがあと）	交野市郡津（かたのしこうづ）	27230		34° 47′ 30″	135° 40′ 41″	1999.6.15 ～17 1999.12.13 ～14	456.46 168.07	住宅建設(99-3次) 住宅建設(99-6次)
神宮寺遺跡（こんぐうじいせき）	交野市神宮寺（かたのしじんぐうじ）	27230		34° 47′ 07″	135° 42′ 05″	1999.4.20	465.11	住宅建設(99-1次)
森遺跡（もりいせき）	交野市森（かたのしもり）	27230		34° 46′ 30″	135° 41′ 25″	1999.5.20 ～21	1193.00	共同住宅建設 (99-2次)
天田神社遺跡（あまだじんじゃいせき）	交野市私市（かたのしきさいち）	27230		34° 46′ 17″	135° 41′ 25″	1999.5.10 ～13 1999.9.29 ～10.5	202.06 93.38	住宅建設(99-1次) 住宅建設(99-2次)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
ハセデ遺跡	散布地	弥生・古墳		須恵器・土師器・瓦	
交野郡衙跡	散布地、集落、官衙跡	古墳～中世		須恵器・土師器・瓦	
神宮寺遺跡	散布地、集落	旧石器～中世		瓦器・土師器	
森遺跡	集落、生産遺跡	弥生～中世	溝・土坑	鍛冶関連遺物・須恵器・土師器・瓦器	
天田神社遺跡	集落	弥生～中世		須恵器・土師器・瓦器	

平成11年度　交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発　行　日　2000年3月31日
編集・発行　交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号
印　刷　所　株式会社きょうせい関西支社